

第2章 江別市の概要

2-1 江別市の概要

(1) 位置・地勢

江別市は、石狩平野の中央部に位置しており、標高は最高 93m、最低 2.5mと全般的に平坦な地勢です。地質は第四紀洪積世に属しており、石狩川流域一帯の沖積土と、野幌丘陵周辺の火山灰土、低地に広がる泥炭土に大別されます。また、特殊な地層として、火成岩による残積土と崩壊土が市街地に散在しています。

市域の南西部には、火山灰埴土地帯の肥沃な土壌条件に恵まれた野幌丘陵が広がっています。周縁部は主に泥炭土が広がる低地帯で、歳月をかけた土壌改良によって耕地化され、道央の重要な食糧生産地帯を形成しています。

また、付近には自然を満喫できる北海道立自然公園野幌森林公園（以下、野幌森林公園）があるほか、北海道最大の河川である石狩川が市域の北東部から北西部へ貫流しており、夕張川・千歳川・豊平川・篠津川などの支流河川と合流しながら日本海の石狩湾へと注いでいます。



図 7 江別市の市域図

(2) 気象

江別市は、亜寒帯湿潤気候の日本海側に属しており、西部から北東方向にのびる波状台地を境として、局地的な気候変化が見られます。

冬は北西の季節風の影響で雪が降りやすく、夏は太平洋高気圧の影響で日中晴れる日が多くなりますが、太平洋沿岸の海霧の影響で朝晩に曇ることもあります。また、オホーツク海高気圧が優勢な年は冷夏となることがあります。

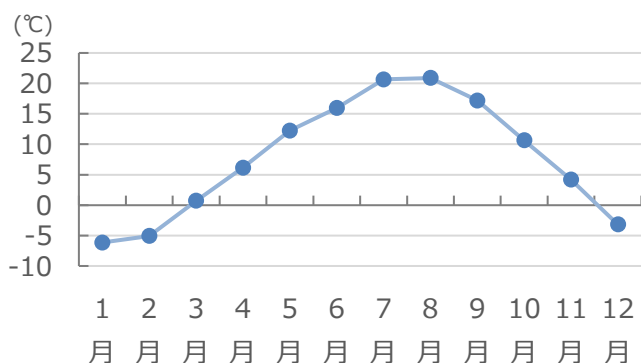


図 8 江別市の平成 29～令和 3
(2017～2021) 年の平均気温

出典：江別市統計書 各年（江別市）

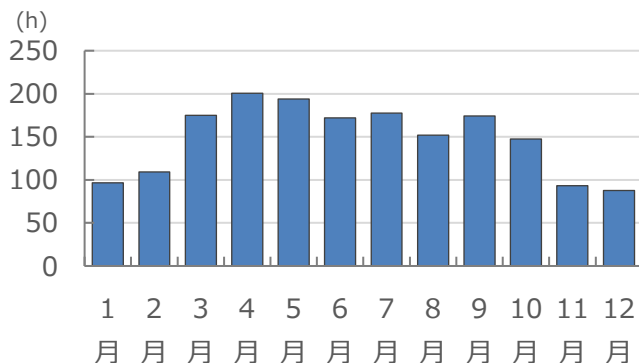


図 9 江別市の平成 29～令和 3
(2017～2021) 年の平均日照時間

出典：江別市統計書 各年（江別市）

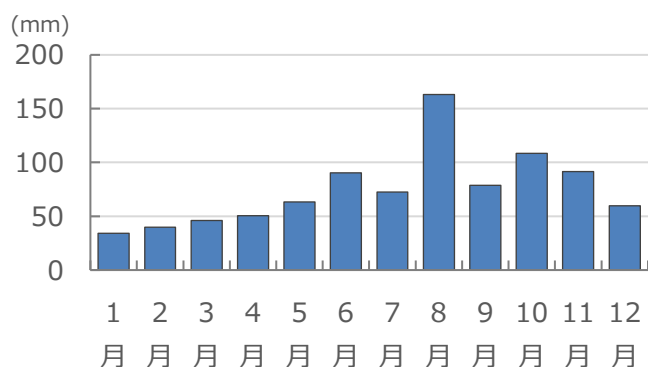


図 10 江別市の平成 29～令和 3
(2017～2021) 年の平均降水量

出典：江別市統計書 各年（江別市）

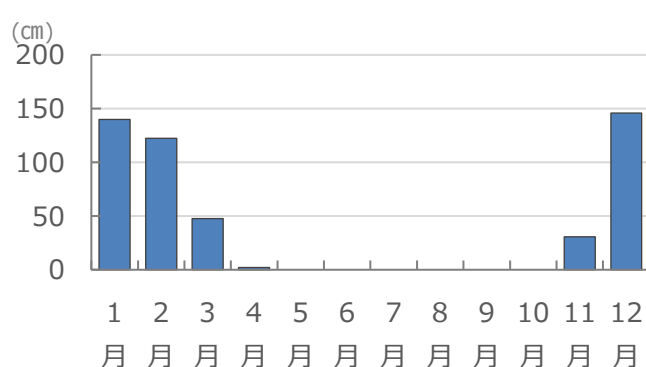


図 11 江別市の平成 29～令和 3
(2017～2021) 年の平均降雪量

出典：江別市統計書 各年（江別市）

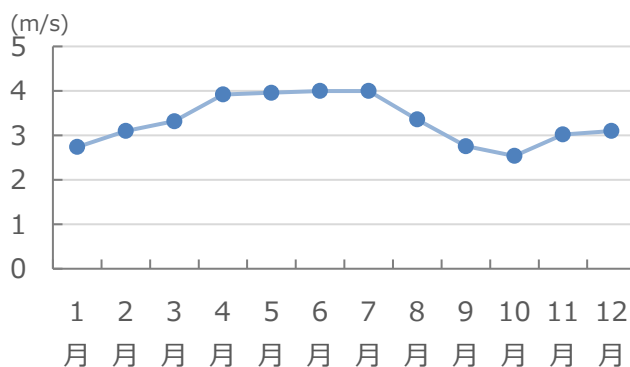
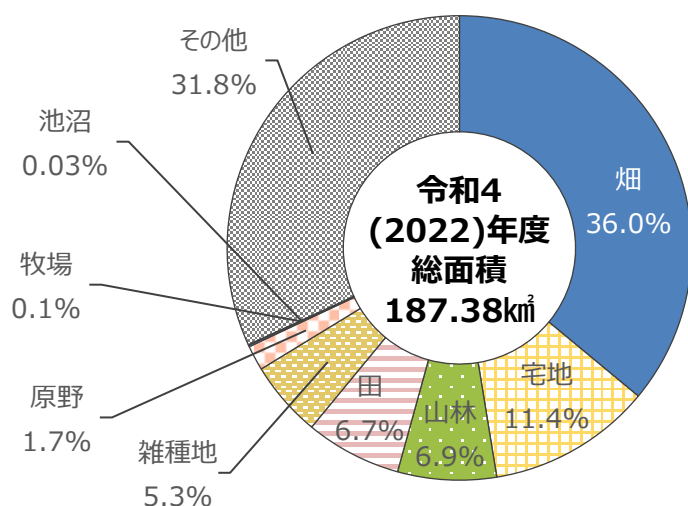


図 12 江別市の平成 29～令和 3 (2017～2021) 年の平均風速

出典：江別市統計書 各年（江別市）

(3) 土地利用

江別市の面積は 187.38 km²です。この面積を地目別に見ていくと、市域の最も多くを占めるのが畑で 67.48 km² (36.0%) となっています。その次は、宅地が 21.39 km² (11.4%)、山林が 12.87 km² (6.9%)、田が 12.52 km² (6.7%) と続いています。

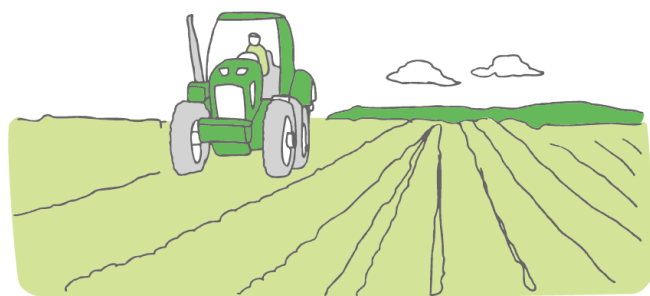


地目	面積(k㎡)	割合
畑	67.48	36.0%
宅地	21.39	11.4%
山林	12.87	6.9%
田	12.52	6.7%
雑種地	9.93	5.3%
原野	3.25	1.7%
牧場	0.22	0.1%
池沼	0.06	0.03%
その他	59.66	31.8%
合計	187.38	100.0%

図 13 江別市の地目別土地面積（令和 4（2022）年度）

※四捨五入の関係で端数が合わない場合があります。

出典：2023 江別市統計書（江別市）



(4) 人口・世帯

江別市の人口及び世帯数は、令和 2（2020）年度時点で、121,056 人、53,977 世帯でした。

人口は、市制が施行された昭和 29（1954）年以来、札幌市の近隣都市として順調に増えてきましたが、平成 22（2010）年に減少に転じており、現在は横ばいで推移しています。

一方で世帯数は、平成 2（1990）年から現在まで増加し続けている状況となっています。

また、年齢階層別人口の推移をみると、老年人口（65 歳以上）が増加する一方で、年少人口（15 歳未満）と生産年齢人口（15～64 歳）が減少しており、少子高齢化が進んでいます。

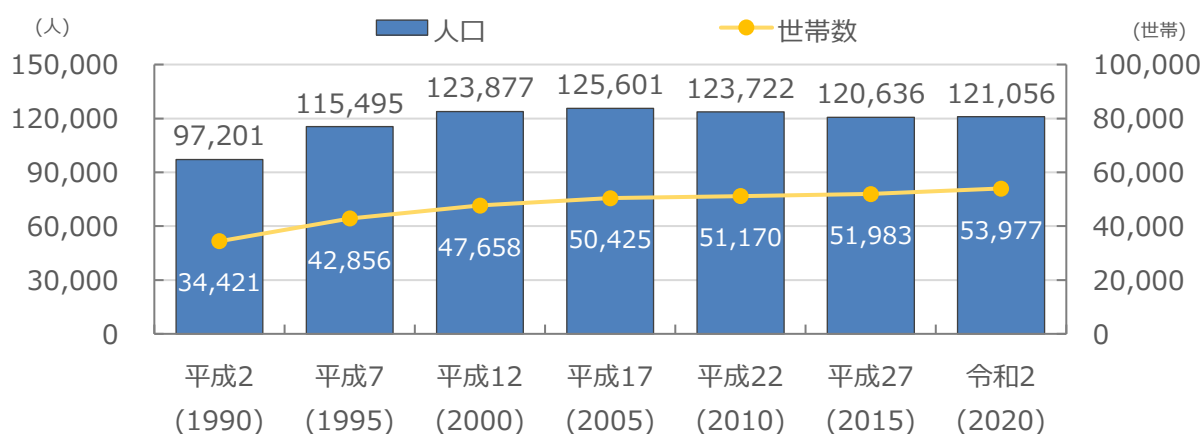


図 14 江別市の人口及び世帯数の推移

出典：国勢調査 各年（総務省）

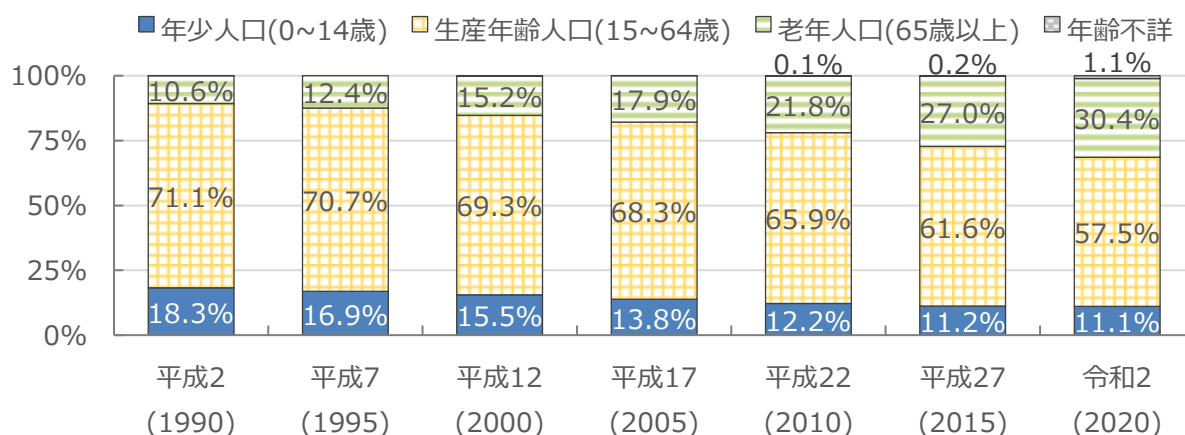


図 15 江別市の年齢3区分別人口割合の推移

出典：国勢調査 各年（総務省）

(5) 産業

① 就業者数

江別市の産業別就業者数の推移をみると、第1次産業及び第2次産業の従事者は減少を続けている一方で、第3次産業の従事者が増加しています。

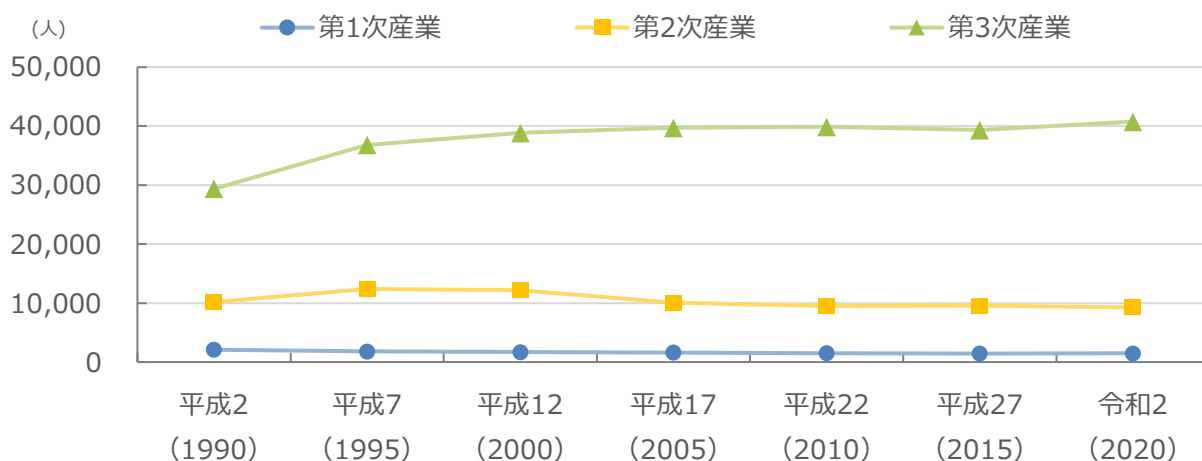


図 16 江別市の就業者数の推移

出典：国勢調査 各年（総務省）

② 事業所数の推移

江別市の事業所数は徐々に減少してきており、平成 21（2009）年時点では 3,697 事業所でしたが、令和 3（2021）年時点では 3,318 事業所となっています。

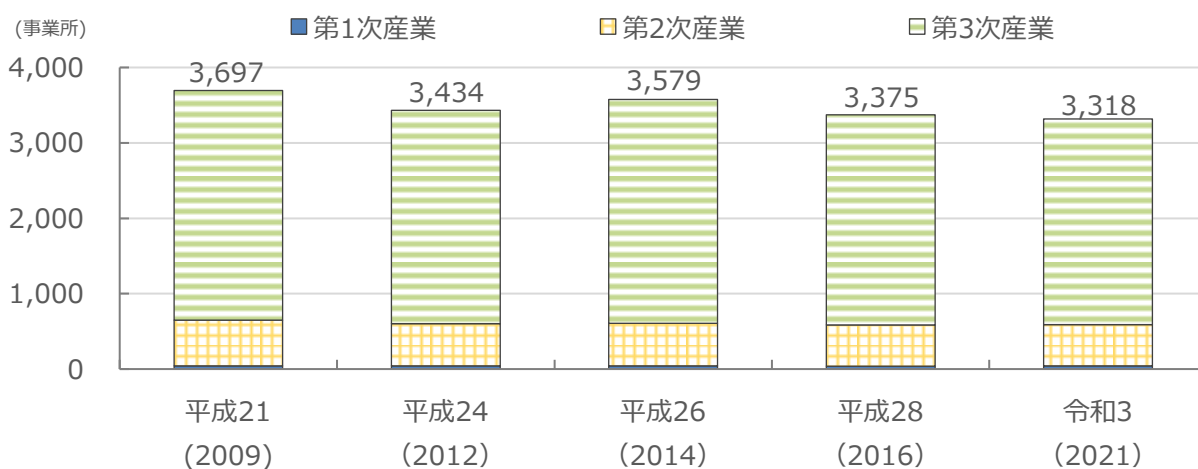


図 17 江別市の事業所数の推移

出典：経済センサス 各年（総務省）

(6) 交通

江別市の鉄道は、JR 函館本線が南北に縦貫し、5 か所の駅（有人駅は 4 か所）があり、乗車人員総数が年々減少しており、平成 29（2017）年度時点では 7,388 人でしたが、令和 3（2021）年度時点では 5,189 人となっています。

また、江別市の車種別自動車保有台数は、ほぼ横ばいで推移しており、平成 29（2017）年度時点では 72,608 台でしたが、令和 3（2021）年度時点では 72,491 台となっています。

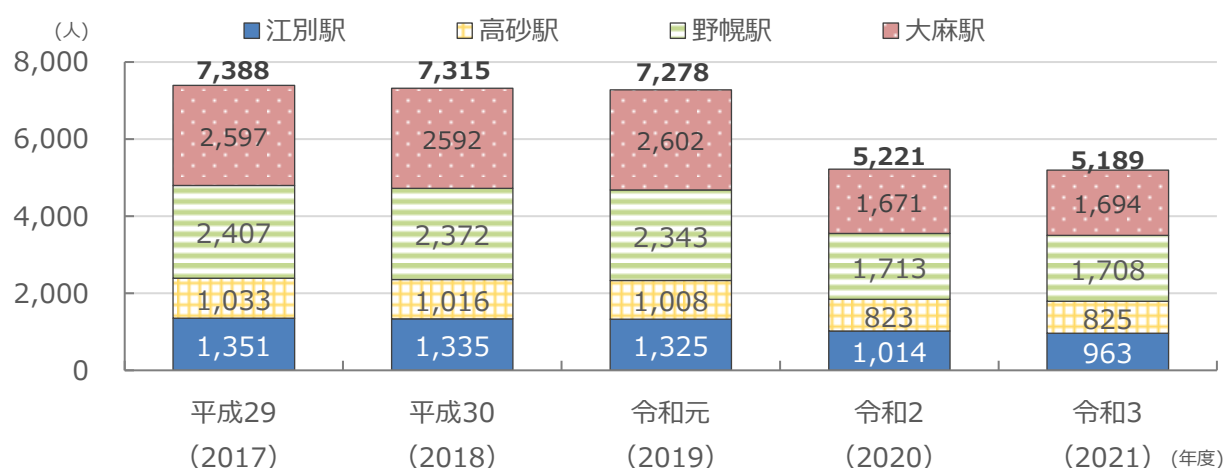


図 18 江別市の駅乗車人員数

出典：2023 江別市統計書（江別市）

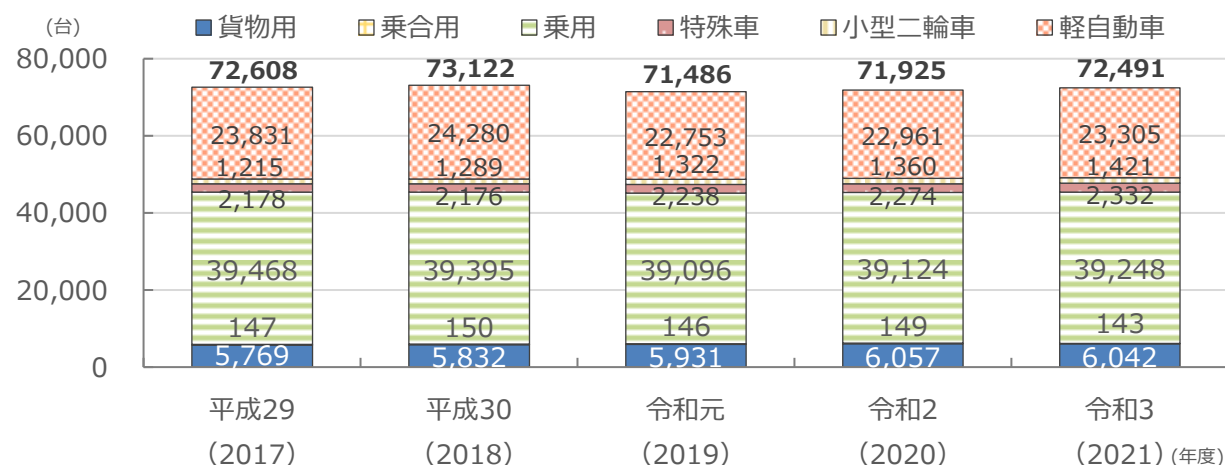


図 19 江別市の自動車保有台数

出典：2023 江別市統計書（江別市）

